

最先端研究開発支援について

参考2-1

最先端研究開発支援プログラム

(先端研究助成基金 1,500億円)

- 研究者を最優先した従来にない研究者支援のための制度の創設
- 我が国の中長期的な国際競争力、底力の強化
- 研究成果の国民及び社会への成果還元

最先端研究(30課題)

1,000億円

- 3~5年で世界のトップを目指した先端的研究
- 基礎から応用まで、さまざまな分野が対象
⇒ 30課題を選定(H21.9.4)、各課題の研究費・研究支援担当機関等を決定(H22.3.9)
- 平成24年度は研究課題の中間評価を実施予定

若手・女性の研究活動を支援

500億円

- 潜在的可能性を持った次世代の若手・女性研究者支援
- 若手の年齢は原則45歳を上限
- 女性の割合や地域性を考慮
- 研究対象はグリーン・イノベーション又はライフ・イノベーション
⇒ 329課題及び研究費配分額を決定(H23.2.10)

加速・強化

相互補完

最先端研究(30課題)

24年度予算額 2億円
(23年度2億円)

- 国際シンポジウム等プログラム全般及び30課題の研究内容を広く公開する活動
⇒ 公募により選定して実施(23年度は11機関を支援)
- 最先端研究開発支援プログラムに採択された30課題の研究開発を一層加速・強化
⇒ 22年度に26課題を支援(97億円)

若手等が活躍する研究基盤等の強化

24年度予算額 99億円
(23年度173億円)

- グリーン・イノベーションやライフ・イノベーションを中心に、国内外の若手研究者を惹きつける最先端の研究設備の整備・運用の支援
⇒ 24年度は事業計画に基づき、継続10事業を支援予定(22年度に14事業を決定)
- 海外への若手研究者派遣を行う大学等研究機関を支援
※22年度限り

最先端研究開発戦略的強化費補助金

24年度予算額 101億円 (23年度 175億円)

- 将来における我が国の経済社会の基盤となる先端的な研究開発の推進
- 潜在的可能性を持った研究者に対する支援体制の強化